

## 第4部 生活習慣病等の状況

### 1. 糖尿病

表2 解析対象者

(人)

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 40～74歳
男女計	4,296	280	607	570	875	912	1,052	2,798
男性	1,744	114	212	207	350	389	472	1,153
女性	2,552	166	395	363	525	523	580	1,645

※ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の測定値がある者を解析対象とした。

#### 1-1. 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の状況

表3 「糖尿病が強く疑われる人」及び「糖尿病の可能性が否定できない人」の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	423	9.8	0	0	3	0.5	18	3.2	89	10.2	124	13.6	189	18.0	320	11.4
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	204	4.7	0	0	2	0.3	4	0.7	29	3.3	64	7.0	105	10.0	149	5.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	513	11.9	3	1.1	22	3.6	59	10.4	112	12.8	140	15.4	177	16.8	383	13.7
	上記以外	3,360	78.2	277	98.9	582	95.9	493	86.5	674	77.0	648	71.1	686	65.2	2,095	74.9
	総数	4,296	100.0	280	100.0	607	100.0	570	100.0	875	100.0	912	100.0	1,052	100.0	2,798	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	214	12.3	0	0	1	0.5	10	4.8	46	13.1	57	14.7	100	21.2	165	14.3
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	106	6.1	0	0	1	0.5	4	1.9	17	4.9	28	7.2	56	11.9	78	6.8
	糖尿病の可能性が否定できない人	193	11.1	1	0.9	4	1.9	19	9.2	46	13.1	56	14.4	67	14.2	148	12.8
	上記以外	1,337	76.7	113	99.1	207	97.6	178	86.0	258	73.7	276	71.0	305	64.6	840	72.9
	総数	1,744	100.0	114	100.0	212	100.0	207	100.0	350	100.0	389	100.0	472	100.0	1,153	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	209	8.2	0	0	2	0.5	8	2.2	43	8.2	67	12.8	89	15.3	155	9.4
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	98	3.8	0	0	1	0.3	0	0	12	2.3	36	6.9	49	8.4	71	4.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	320	12.5	2	1.2	18	4.6	40	11.0	66	12.6	84	16.1	110	19.0	235	14.3
	上記以外	2,023	79.3	164	98.8	375	94.9	315	86.8	416	79.2	372	71.1	381	65.7	1,255	76.3
	総数	2,552	100.0	166	100.0	395	100.0	363	100.0	525	100.0	523	100.0	580	100.0	1,645	100.0

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定 (糖尿病実態調査(H9, H14)と同様の基準)  
 「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビン A<sub>1c</sub>の値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。  
 「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビン A<sub>1c</sub>の値が5.6%以上、6.1%未満で、 以外の人である。

#### 1-2. 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の推計

今回の調査結果に平成18年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口(全体約1億400万人)を乗じて推計したところ、「糖尿病が強く疑われる人」は約820万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」を合わせると約1,870万人となった(表4)。

(参考:平成14年度糖尿病実態調査「糖尿病が強く疑われる人」約740万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」約880万人)(表5)。

表4 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の推計(平成18年)

	平成18年
「糖尿病が強く疑われる人」	約820万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約1,050万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定できない人」の合計	約1,870万人

(参考)表5 糖尿病が強く疑われる人, 糖尿病の可能性が否定できない人の推計  
(平成9年, 平成14年)

	平成14年	平成9年
「糖尿病が強く疑われる人」	約740万人	約690万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約880万人	約680万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定できない人」の合計	約1,620万人	約1,370万人

(参考)

本報では、「糖尿病の可能性が否定できない人」の判定を糖尿病実態調査(H9, H14)と同様の基準(ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.6%以上, 6.1%未満)を用いて行っているが, 老人保健事業の健康診査では, ヘモグロビンA<sub>1c</sub>値5.5%以上を「要指導」としているため, 「糖尿病の可能性が否定できない人」について, ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.5%以上, 6.1%未満で判定した値についても参考値として示す。

表6 「糖尿病が強く疑われる人」及び「糖尿病の可能性が否定できない人」の比率  
(「糖尿病の可能性を否定できない人」のヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.5%以上, 6.1%未満の場合)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	423	9.8	0	0	3	0.5	18	3.2	89	10.2	124	13.6	189	18.0	320	11.4
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	204	4.7	0	0	2	0.3	4	0.7	29	3.3	64	7.0	105	10.0	149	5.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	763	17.8	8	2.9	37	6.1	81	14.2	166	19.0	211	23.1	260	24.7	571	20.4
	上記以外	3,110	72.4	272	97.1	567	93.4	471	82.6	620	70.9	577	63.3	603	57.3	1,907	68.2
	総数	4,296	100.0	280	100.0	607	100.0	570	100.0	875	100.0	912	100.0	1,052	100.0	2,798	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	214	12.3	0	0	1	0.5	10	4.8	46	13.1	57	14.7	100	21.2	165	14.3
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	106	6.1	0	0	1	0.5	4	1.9	17	4.9	28	7.2	56	11.9	78	6.8
	糖尿病の可能性が否定できない人	268	15.4	1	0.9	6	2.8	22	10.6	65	18.6	80	20.6	94	19.9	206	17.9
	上記以外	1,262	72.4	113	99.1	205	96.7	175	84.5	239	68.3	252	64.8	278	58.9	782	67.8
	総数	1,744	100.0	114	100.0	212	100.0	207	100.0	350	100.0	389	100.0	472	100.0	1,153	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	209	8.2	0	0	2	0.5	8	2.2	43	8.2	67	12.8	89	15.3	155	9.4
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	98	3.8	0	0	1	0.3	0	0	12	2.3	36	6.9	49	8.4	71	4.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	495	19.4	7	4.2	31	7.8	59	16.3	101	19.2	131	25.0	166	28.6	365	22.2
	上記以外	1,848	72.4	159	95.8	362	91.6	296	81.5	381	72.6	325	62.1	325	56.0	1,125	68.4
	総数	2,552	100.0	166	100.0	395	100.0	363	100.0	525	100.0	523	100.0	580	100.0	1,645	100.0

※「服薬者」とは, 質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定  
「糖尿病が強く疑われる人」とは, ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が6.1%以上, または, 質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。  
「糖尿病の可能性を否定できない人」とは, ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.5%以上, 6.1%未満で, 以外の人である。

## 2. 高血圧症

表 7 解析対象者

(人)

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 40～74歳
男女計	4,538	301	630	593	907	972	1,135	2,940
男性	1,834	122	220	214	363	411	504	1,208
女性	2,704	179	410	379	544	561	631	1,732

※血圧の測定値(2回測定の平均値)、質問票(「血圧を下げる薬」の服薬状況)の回答がある者を解析対象とした。

### 2-1. 高血圧症有病者の状況

表 8 高血圧症有病者の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
有病者	2,046	45.1	10	3.3	60	9.5	130	21.9	428	47.2	597	61.4	821	72.3	1,466	49.9
(うち服薬者)*	1,022	22.5	2	0.7	7	1.1	22	3.7	154	17.0	300	30.9	537	47.3	674	22.9
正常高値血圧者	663	14.6	21	7.0	73	11.6	111	18.7	165	18.2	154	15.8	139	12.2	499	17.0
上記以外	1,829	40.3	270	89.7	497	78.9	352	59.4	314	34.6	221	22.7	175	15.4	975	33.2
総数	4,538	100.0	301	100.0	630	100.0	593	100.0	907	100.0	972	100.0	1,135	100.0	2,940	100.0
男性	975	53.2	8	6.6	42	19.1	76	35.5	215	59.2	274	66.7	360	71.4	714	59.1
(うち服薬者)*	457	24.9	2	1.6	4	1.8	13	6.1	76	20.9	130	31.6	232	46.0	312	25.8
正常高値血圧者	288	15.7	18	14.8	47	21.4	42	19.6	61	16.8	57	13.9	63	12.5	191	15.8
上記以外	571	31.1	96	78.7	131	59.5	96	44.9	87	24.0	80	19.5	81	16.1	303	25.1
総数	1,834	100.0	122	100.0	220	100.0	214	100.0	363	100.0	411	100.0	504	100.0	1,208	100.0
女性	1,071	39.6	2	1.1	18	4.4	54	14.2	213	39.2	323	57.6	461	73.1	752	43.4
(うち服薬者)*	565	20.9	0	0	3	0.7	9	2.4	78	14.3	170	30.3	305	48.3	362	20.9
正常高値血圧者	375	13.9	3	1.7	26	6.3	69	18.2	104	19.1	97	17.3	76	12.0	308	17.8
上記以外	1,258	46.5	174	97.2	366	89.3	256	67.5	227	41.7	141	25.1	94	14.9	672	38.8
総数	2,704	100.0	179	100.0	410	100.0	379	100.0	544	100.0	561	100.0	631	100.0	1,732	100.0

(参考)表 9 高血圧症有病者の比率(妊婦除外)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
有病者	1,071	39.9	2	1.1	18	4.6	54	14.2	213	39.2	323	57.6	461	73.1	752	43.4
(うち服薬者)*	565	21.1	0	0	3	0.8	9	2.4	78	14.3	170	30.3	305	48.3	362	20.9
正常高値血圧者	375	14.0	3	1.7	26	6.6	69	18.2	104	19.1	97	17.3	76	12.0	308	17.8
上記以外	1,238	46.1	170	97.1	350	88.8	256	67.5	227	41.7	141	25.1	94	14.9	672	38.8
総数	2,684	100.0	175	100.0	394	100.0	379	100.0	544	100.0	561	100.0	631	100.0	1,732	100.0

「高血圧症有病者・正常高値血圧者」の判定

- ・高血圧症有病者：収縮期血圧 140mmHg 以上、または拡張期血圧 90mmHg 以上、または血圧を下げる薬を服用している者。  
有病者のうち服薬者とは、質問票で「血圧を下げる薬」の服用有と回答した者とし、総数に占める比率を示した。
- ・正常高値血圧者：収縮期血圧 130mmHg 以上 140mmHg 未満で、かつ拡張期血圧 90mmHg 未満の者または、収縮期血圧が 140mmHg 未満で、かつ拡張期血圧が 85mmHg 以上 90mmHg 未満の者。(ただし、薬を服用していない者)

今回の調査結果に平成 18 年 10 月 1 日現在推計の男女別、年齢階級別の 20 歳以上人口(全体約 1 億 400 万人)を乗じて推計したところ、「高血圧症有病者」は約 3,970 万人、「正常高値血圧者」を合わせると、約 5,490 万人となった(表 10)。

### 2-2. 高血圧症有病者の推計

表 10 高血圧症有病者の推計

	平成18年
「高血圧症有病者」	約3,970万人
「正常高値血圧者」	約1,520万人
「高血圧症有病者」、「正常高値血圧者」の合計	約5,490万人

### 3. 脂質異常症

表 11 解析対象者

(人)

	総数	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	(再掲)40~74歳
男女計	4,304	284	601	570	876	917	1,056	2,809
男性	1,747	115	210	207	351	390	474	1,159
女性	2,557	169	391	363	525	527	582	1,650

※総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロールの測定値, 質問票(「コレステロールを下げる薬」の服薬状況)の回答がある者を解析対象とした。

#### 3-1. 脂質異常症が疑われる人の状況

表 12 「脂質異常症が疑われる人」の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	脂質異常症が疑われる人	680	15.8	7	2.5	22	3.7	39	6.8	144	16.4	199	21.7	269	25.5	498	17.7
	(うち服薬者)*	450	10.5	0	0	5	0.8	18	3.2	99	11.3	139	15.2	189	17.9	334	11.9
	上記以外	3,624	84.2	277	97.5	579	96.3	531	93.2	732	83.6	718	78.3	787	74.5	2,311	82.3
	総数	4,304	100.0	284	100.0	601	100.0	570	100.0	876	100.0	917	100.0	1,056	100.0	2,809	100.0
男性	脂質異常症が疑われる人	296	16.9	6	5.2	16	7.6	25	12.1	66	18.8	79	20.3	104	21.9	216	18.6
	(うち服薬者)*	128	7.3	0	0	3	1.4	7	3.4	31	8.8	38	9.7	49	10.3	95	8.2
	上記以外	1,451	83.1	109	94.8	194	92.4	182	87.9	285	81.2	311	79.7	370	78.1	943	81.4
	総数	1,747	100.0	115	100.0	210	100.0	207	100.0	351	100.0	390	100.0	474	100.0	1,159	100.0
女性	脂質異常症が疑われる人	384	15.0	1	0.6	6	1.5	14	3.9	78	14.9	120	22.8	165	28.4	282	17.1
	(うち服薬者)*	322	12.6	0	0	2	0.5	11	3.0	68	13.0	101	19.2	140	24.1	239	14.5
	上記以外	2,173	85.0	168	99.4	385	98.5	349	96.1	447	85.1	407	77.2	417	71.6	1,368	82.9
	総数	2,557	100.0	169	100.0	391	100.0	363	100.0	525	100.0	527	100.0	582	100.0	1,650	100.0

「脂質異常症が疑われる人」の判定  
 国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、脂質異常症の診断基準項目である中性脂肪による判定は行わず、下記の通りとした。  
 ・「脂質異常症が疑われる人」  
 HDL コレステロールが 40mg/dl 未満, 若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者。(採血時間によらず, 妊婦含む)  
 「脂質異常症が疑われる人」のうち, 服薬者とは, 質問票で「コレステロールを下げる薬」の服用有と回答した者とし, 総数に占める比率を示した。

(参考) 表 13 「脂質異常症が疑われる人」の比率(「動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2007年版)」の基準)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	脂質異常症が疑われる人	1,787	42.2	59	21.1	157	26.3	199	35.4	445	52.2	469	52.3	458	43.9	1,312	47.7
	(うち服薬者)*	205	4.8	0	0	4	0.7	12	2.1	48	5.5	60	6.5	81	7.7	150	5.3
	上記以外	2,443	57.8	221	78.9	439	73.7	363	64.6	407	47.8	428	47.7	585	56.1	1,439	52.3
	総数	4,230	100.0	280	100.0	596	100.0	562	100.0	852	100.0	897	100.0	1,043	100.0	2,751	100.0
男性	脂質異常症が疑われる人	809	47.7	30	27.0	91	44.2	105	52.8	190	56.7	201	52.6	192	41.4	584	52.0
	(うち服薬者)*	70	4.0	0	0	3	1.4	6	2.9	17	4.8	22	5.6	22	4.6	51	4.4
	上記以外	888	52.3	81	73.0	115	55.8	94	47.2	145	43.3	181	47.4	272	58.6	538	48.0
	総数	1,697	100.0	111	100.0	206	100.0	199	100.0	335	100.0	382	100.0	464	100.0	1,122	100.0
女性	脂質異常症が疑われる人	978	38.6	29	17.2	66	16.9	94	25.9	255	49.3	268	52.0	266	45.9	728	44.7
	(うち服薬者)*	135	5.3	0	0	1	0.3	6	1.7	31	5.9	38	7.2	59	10.1	99	6.0
	上記以外	1,555	61.4	140	82.8	324	83.1	269	74.1	262	50.7	247	48.0	313	54.1	901	55.3
	総数	2,533	100.0	169	100.0	390	100.0	363	100.0	517	100.0	515	100.0	579	100.0	1,629	100.0

「脂質異常症が疑われる人」の判定 (定義)「動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2007年版)」の基準  
 LDL コレステロール (Friedewald の式で算出) 140mg/dl 以上, または, 中性脂肪 150mg/dl 以上, または, HDL コレステロール 40mg/dl 未満  
 (ただし, 採血時間によらず, 中性脂肪 400mg/dl 以上は除外 (74名), 妊婦含む。なお, 集計対象者のうち, 食後6時間以上経過後採血の者は, 1,645名。)  
 「脂質異常症が疑われる人」のうち, 服薬者とは, 質問票で「コレステロールを下げる薬」の服用有と回答した者とし, 総数に占める比率を示した。

### 3-2 .「脂質異常症が疑われる人」の推計

今回の調査結果に平成 18 年 10 月 1 日現在推計の男女別，年齢階級別の 20 歳以上人口（全体約 1 億 400 万人）を乗じて推計したところ，「脂質異常症が疑われる人」は約 1,410 万人となった（表 14）。

国民健康・栄養調査の血液検査では，直接法による LDL コレステロールの測定を行っていない。また，空腹時採血を対象者全員に行うことが困難であるため，食事の影響を受ける中性脂肪及び中性脂肪を用いた LDL コレステロールの計算式（Friedewald の式）での算出は行わず，HDL コレステロールと服薬状況のみを用いて，「脂質異常症が疑われる人」の判定を行った（表 12）。この場合，推計値は，約 1,410 万人であった。

表 14 「脂質異常が疑われる人」の推計

	平成18年
「脂質異常症が疑われる人」	約1,410万人

また，参考値として，食事の影響を受ける中性脂肪を用い，「動脈硬化性疾患予防ガイドライン（2007 年版）」の基準である中性脂肪，LDL コレステロール，HDL コレステロールを用いた判定を行った（表 13）。この場合，推計値は約 4,220 万人であった。なお，参考値の算出に当たっては，中性脂肪は採血時間によらず使用し，LDL コレステロールは Friedewald の式で算出した（解析対象者のうち，食後 6 時間以上経過後採血の者は，1,645 名）。

Friedewald の式（LDL コレステロール = 総コレステロール - HDL コレステロール - 中性脂肪 / 5（中性脂肪値が 400mg/dl 未満の場合）

（参考）表 15 「脂質異常が疑われる人」の推計

	平成18年
「脂質異常症が疑われる人」	約4,220万人

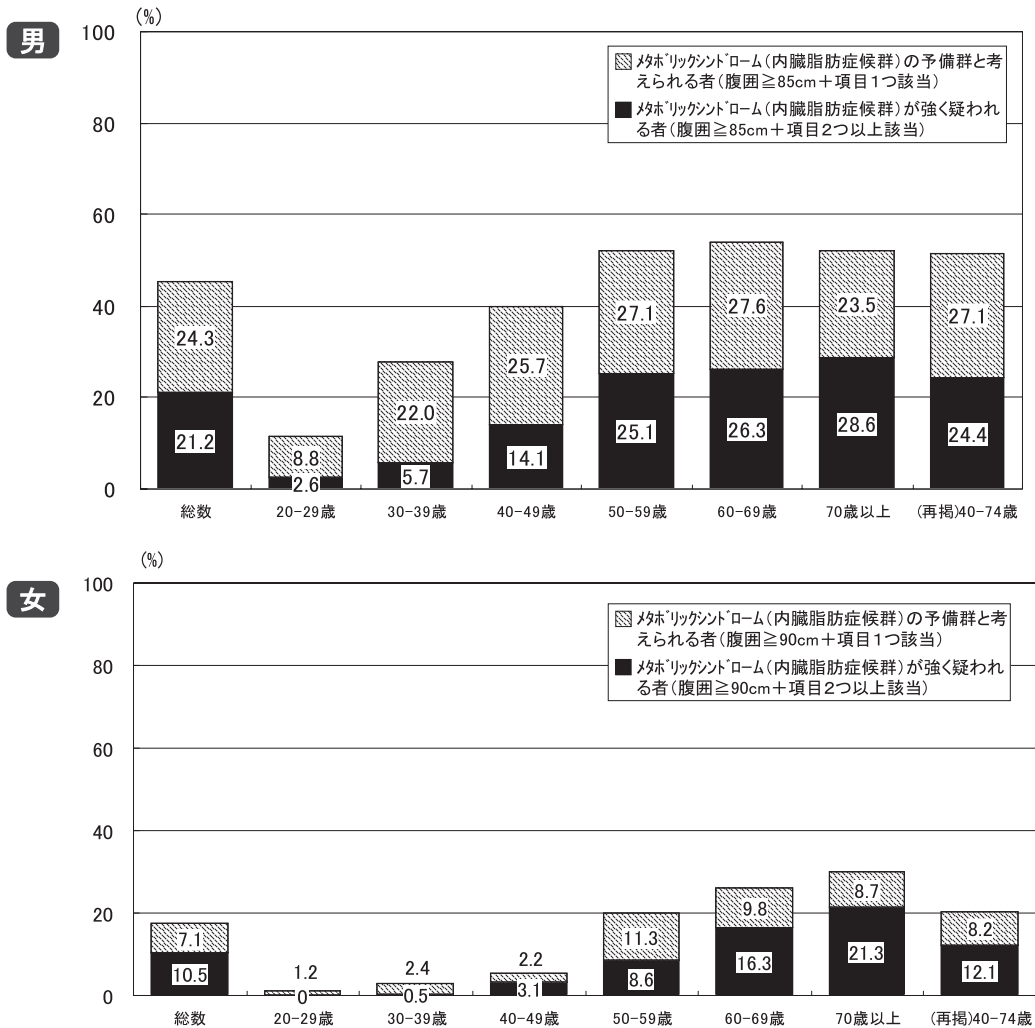
#### 4. メタボリックシンドローム

40～74歳でみると，男性の2人に1人，女性の5人に1人が，メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者。

20歳以上において，メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者の比率は，男性21.2%，女性10.5%，予備群と考えられる者の比率は，男性24.3%，女性7.1%であった。

40～74歳でみると，強く疑われる者の比率は，男性24.4%，女性12.1%，予備群と考えられる者の比率は，男性27.1%，女性8.2%であり，40～74歳男性の2人に1人，女性の5人に1人が，メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であった。

図 29 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（20歳以上）



各年代のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者と予備群と考えられる者について，平成18年10月1日現在推計の男女別，年齢階級別の40-74歳人口（全体約5,700万人中）を用い，それぞれ該当者，予備群として推計したところ，40～74歳におけるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者数は約960万人，予備群者数は約980万人，併せて約1,940万人と推定される。

（参考）表 16 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者，予備群の推計（平成16年，平成17年）

	平成17年	平成16年
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者（該当者）	約920万人	約940万人
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者	約980万人	約1,020万人

### “メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い”の判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

#### メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者

腹囲が男性 85 cm、女性 90 cm 以上で、3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 2 つ以上の項目に該当する者。

“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

#### メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者

腹囲が男性 85 cm、女性 90 cm 以上で、3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 1 つに該当する者。

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・ヘモグロビンA <sub>1c</sub> 値 5.5%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

（参考：厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～」平成 17 年 8 月）

老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビン A<sub>1c</sub> 値 5.5% 以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いに関する判定項目である血糖を“ヘモグロビン A<sub>1c</sub> 値 5.5%”とした。

### （参考）メタボリックシンドロームの診断基準

（日本動脈硬化学会，日本糖尿病学会，日本高血圧学会，日本肥満学会，日本循環器学会，日本腎臓病学会，日本血栓止血学会，日本内科学会，2005 年 4 月）

（上記との比較のため，記載方法を一部変更し，上記とほぼ同様の様式とした。）

#### メタボリックシンドローム

内臓脂肪（腹腔内脂肪）蓄積に加え，下記の 2 つ以上の項目に該当する場合。

“項目に該当する”とは，下記の「基準」を満たしている場合，かつ/または「服薬」がある場合とする。

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・中性脂肪(TG)値 150mg/dl以上 (高トリグリセライド血症) ・HDLコレステロール値 40mg/dl未満 (低HDLコレステロール血症)	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・空腹時血糖値 110mg/dl以上
服薬	・高トリグリセライド血症に対する薬物治療 ・低HDLコレステロール血症に対する薬物治療	・高血圧に対する薬物治療	・糖尿病に対する薬物治療

\* CT スキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。

\* ウエスト径は立位，軽呼気時，臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定する。

\* メタボリックシンドロームと診断された場合，糖負荷試験が薦められるが診断には必須ではない。

\* 糖尿病，高コレステロール血症の存在はメタボリックシンドロームの診断から除外されない。